

# 令和6年度 校内研修（究）計画書

十和田市立三本木小学校

## 1 学校の教育課題

### 【確かな学力の育成にあたって】

思考力・判断力・表現力を身に付けた子供の育成

○児童の向上心をくすぐる授業実践（「三小の学び」の浸透）

○基礎・基本の定着を図る施策の充実

○授業における ICT 機器の効果的な活用

### 【児童の実態】

○素直で前向きな態度で学習に臨んでいる。

○友達と助け合いながら学習に取り組んでいる。

●主体性と探究心の更なる向上をめざす必要がある。

●学力、学習習慣の定着において個人差が大きい。

●相手に伝わるような話し方が身に付いていない。

### （1）教育目標・努力目標

教 育 目 標	努 力 目 標
自ら学ぶ子（知）	めあてをもって進んで学習する
思いやる子（徳）	相手の立場や気持ちを考えて行動する
たくましい子（体）	健康で明るく元気に運動する
ねばり強い子（意）	協力し合って最後まで活動する

### （2）【校訓】自立・感謝・進取

本校の学区には、市の開祖ともいいうべき新渡戸家三代を祀る太素塚があり、校内には新渡戸傳翁の肖像画、新渡戸稻造博士の銅像がある。

こうした偉大な先人が残した学びの教えは校歌にも詠まれており、その校歌の精神を集約したもののが、本校の校訓「自立」「感謝」「進取」である。

「志・希望・夢をもち、創造力豊かで、未来を主体的に切り拓く杉の子」を育むために、この校歌の精神を踏まえ、具現化に向けた指導に取り組んでいきたい。

- ① 子供一人一人に、将来にわたって自己を開拓し、自己実現を追求する能力と社会に貢献できる資質の基礎を育む 自立（国柱となりぬべし）
- ② 先人の努力に対する畏敬の念、及び、共に学び、共に支え合って生きている隣人への思いやりと感謝の心を育む 感謝（恩をばいかで忘るべき）
- ③ 将来への夢や希望をもち、その達成に向けて自己を高めるための自己教育力を育む 進取（学びの道を進まばや）

## 2 本年度の研究計画

### （1）研究主題

主体的に学び、対話を通し、考えを深める児童の育成

～算数科における「つかむ」「深める」場面に焦点を当てた授業実践を通して～

## 【主体的に学ぶ】とは

主体的な学びの実現に向けた授業改善の具体的な内容については、中央教育審議会答申(H28.12)において、以下の視点に立った授業改善を行うことが示されている。

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもつて粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。

主体的な学びを実現するためには、学習の過程における「つかむ」場面において、自分なりの課題を設定できることが大切である。子供自身が興味をもち、自分の課題を設定できる子供の姿を目指していく。(「主体的に学ぶ」子供の姿)

## 【対話を通し、考えを深める】とは

対話的な学びの実現に向けた授業改善の具体的な内容については、中央教育審議会答申(H28.12)において、以下の視点に立った授業改善を行うことが示されている。

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。

対話を通し考えを深めるためには、学習の過程における「深める」場面において、数学的な見方・考え方を働かせながら対話し、数理的処理のよさに気付くことが大切である。対話を通し、数理的処理のよさに気付き、その後に活用していきながら学習が意味あるものとなり、数学のよさを実感を伴って味わうことができる。(「考えを深める」子供の姿)

## (2) 主題設定の理由

### ①学習指導要領との関連から

#### 「第2章 第1節 算数科の目標」

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説算数編では、算数科の目標として、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す」と示されている。

また、次頁表1の通り、算数科の学習指導の過程においては、『日常生活や意社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決し、解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察する、という問題解決の過程』と、『数学の事象について統合的・発展的に捉えて新たな問題を設定し、数学的に処理し、問題を解決し、解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする、という問題解決の過程』の、二つの過程が相互に関り合って展開することが重視されている。

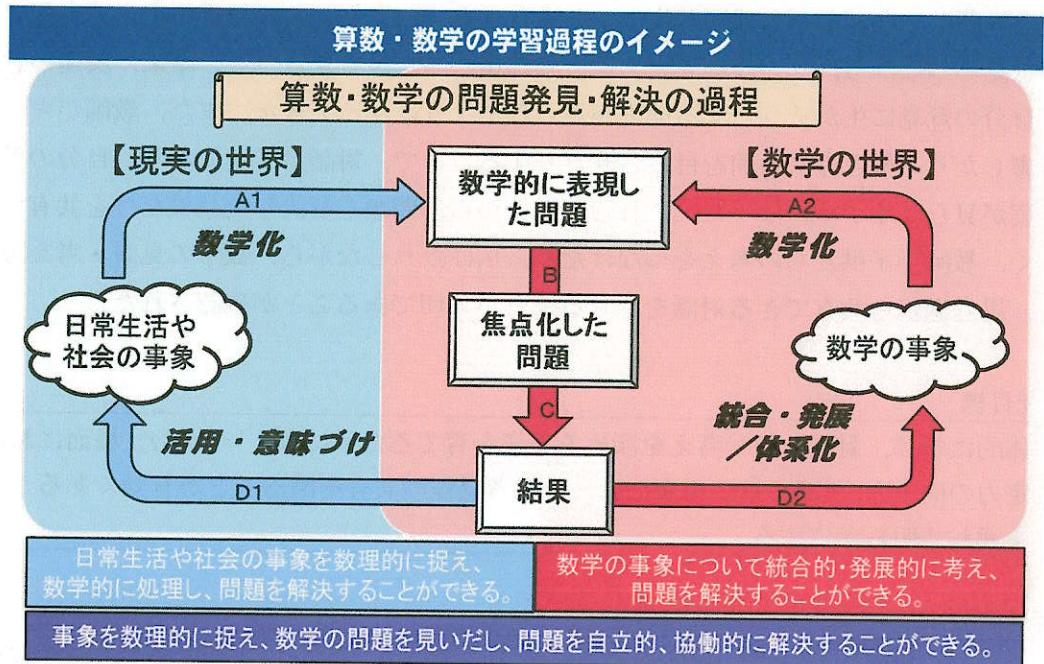


表1 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 算数・数学ワーキンググループにおける審議の取りまとめ 資料4(H28.8.26)

## ②児童の実態、学校や地域の課題との関連

本校は十和田市の中心に位置し、創立151年の伝統ある学校である。また、地域や保護者の教育に対する意識も高く、協力的な保護者が多い。一方、様々な家庭環境を背景とした家庭の教育力の二極化が見られる。また、特別支援教育については、交流学習が活発に行われ、通常の学級の児童も特別支援学級在籍の児童も、互いの特徴を認め合い、支え合うなど学級内の温かい人間関係が構築されている。

素直な児童が多く、友達と助け合って課題に取り組むことができる。その反面、自ら率先して何かをしようという主体性と探究心が弱く、更なる向上を目指したい。

一昨年度からの教研式CRT算数科の結果は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、いずれも全国平均を上回ってはいるものの、決して高くはない状況である。(表2)

表2

観 点	R4 年度	R5 年度
知識・技能	104	103
思考・判断・表現	107	106
主体的に学習に取り組む態度	103	104

## ③これまでの研究の成果と課題から

学習指導要領の趣旨を踏まえた資質・能力の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、本校の学習スタイル「三小の学び」を算数科の中でも確立することを中心に校内研究を進めてきた。その結果、児童の「主体的な学び」を引き出すために、6つの資料提示の工夫によって、自分の課題を設定できる子供の姿が見られるようになってきたことが成果として挙げられる。さらに、蓄積された資料提示の工夫を参考にしながら、児童が「あれ?」「おや?」という疑問を感じ、子供から問い合わせが生まれるような資料提示を行い、引き続き、「主体的に学ぶ」児童の育成を目指したい。

「対話を通し、考えを深める」ことについては、対話をさせる時に、子供たちから出された

言葉を教師がつなげながら課題解決に向かったことで、子供たちの発言が増え、自分の意見が次の意見へつながる、という経験を子供たちが積むことができた。その結果、友達の意見を聞き、自分の意見に生かそうとする態度が見られるようになってきた。また、教師がキーワードを板書したり、解き方に名前を付けさせたりすることで、対話が活発になり、自分の考えを深める姿が見られるようになった。これらのことから、問題を解決した結果だけを共有するのではなく、教師が子供たちの考えをつなげたり、広げたりしながら、数学の見方・考え方を働かせて、思考過程を共有できる対話をさせることが大切であることが確認された。

### (3) 研究目標

主体的に学び、対話を通し考えを深める児童を育てるためには、「つかむ」場面における課題設定力の向上と、「深める」場面における思考過程の共有を図ることが有効であることを、実践を通して明らかにする。

### (4) 研究仮説

①「つかむ」場面において、児童の「知りたい」「調べたい」という意欲を引き出す資料提示の工夫をし、自分の課題を設定させることで、児童は主体的・持続的に学習に取り組むことができるであろう。

#### 【「つかむ」場面の工夫の例】

- ・身近な場面を設定する。
  - ・迷う場面を設定する。
  - ・既習と比較させる。
  - ・分類させる。
  - ・どうしたら勝てるか競わせる。
  - ・試行錯誤して計算させる。
  - ・情報を多くしたり、少なくしたりして提示する。
  - ・一部を隠して提示する。
  - ・具体物を提示する。
  - ・段階的に提示する。
- など

②「深める」場面において、数学的な見方・考え方を働かせた対話の場面で数理的処理のよさについて話し合わせることで、児童は考えを深めることができるであろう。

#### 【「深める」場面の工夫の例】

- ・キーワードや図、式を板書する。
  - ・意図的に色分けをして板書する。
  - ・「有用性」「簡潔性」「一般性」「正確性」「能率性」「発展性」「美しさ」などの様々な視点から、出された考えを検討させる。
  - ・子供の考えを見取り、つなげ、広げる。
- など